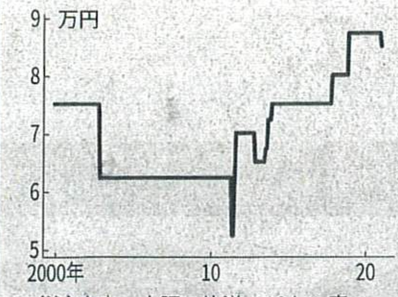
トラック運賃 8年ぶり下落

企業間輸送 貸し切り料金

荷動き減少／元請けが「中抜き」

運賃は右肩上がりだったが



（注）東京―大阪の片道、10トン車

企業間の輸送に使われる貸し切りトラックの運賃が約8年ぶりに下落した。新型コロナウイルス禍による荷動き低迷で運送業者の収益が悪化。緊急事態宣言の再発令も追い打ちとなり、元請け企業が利益確保のため、下請けに実際の運送を委託する際の手数料を増やして「中抜き」を強めているためだ。

貸し切りトラックは荷主が日時を指定して貨物を目的地まで運ぶ。東京発大阪行きチャーター料金は足元で、10トン車で片道8万～9万円程度と、前年同期に比べ3%値下がりした。下落は12年12月以来。

緊急事態宣言の再発令もあり、荷動きは低迷している

ここ数年、トラック運賃は右肩上がりが続いていた。ドライバー確保のための賃上げや安全装備の搭載といった車両コストの上昇を反映してきたが、コロナ禍で飲食品やアパレル商品の荷動き停滞が直撃している。

国土交通省によると、2020年12月の一般貨物の輸送量は0.4%減。15カ月連続で前年割れが続く。「21年1月以降は緊急事態宣言の再発令でさらに荷動きが鈍っている」（中堅運送会社）

全日本トラック協会（東京・新宿）などによると、輸送仲介システム「WebKIT」の2月の成約運賃指数（10年4月＝100）も117と、前年同月（123）から6ポイント低下。1月と比べても2ポイント下落した。

運賃下落は、運送業者間の「中抜き」の拡大も一因だ。トラック業界は「孫請け、ひ孫請けが当たり前の多重構造」（船井総研ロジの橋本直行取締役）。荷主と元請け間の運賃にあまり変化はないが、元請けから下請け、下請けから孫請けへの提示金額が下がり、実勢運賃は下がっている。

以前から「中抜き」はあったが、年明け以降は一段と深刻化している。

元請けなどが下請けなどに実際の運送を委託する際にとる手数料は、「通常時ならせいぜい数千円程度だが、最近は数万円のものも散見されるようになった。過去に見たことのない水準だ」（中堅運送会社）という。

サービスの差別化が難しいトラック輸送では、下請け企業の立場が弱く、規模が小さくなるほど運賃が下がる傾向にある。荷動きが堅調な局面では、下請け企業の運賃も上昇しやすい。ただ不況時は仕事がないより安値で応札してしまう業者も少なくない。

奈良市の中堅運送会社、富士運輸の松岡弘晃社長は「東京―大阪間の採算ラインは大型トラックで片道8万円以上。現在はそれを下回るケースも目にする」と明かす。

運賃が上昇に転じるには時間がかかりそうだ。業界では「コロナが終息しない限り荷動きは戻ってこない。長期戦は覚悟している」「荷主の業績も振るわない中、運賃への下げ圧力はしばらく続きそう」との見方が多い。

石垣牛を首都圏へ

販促協議会が発足

沖縄県石垣島の黒毛和牛「石垣牛」を首都圏などへ売り込もうと「石垣牛流通協議会」が4日、都内で発足した。食肉卸のニイチク（東京・江東）とJAおきなわ八重山地区畜産振興センター（沖縄県石垣市）が連携、食肉卸やホテル、飲食店など37社が参加した。新型コロナウイルスの影響で観光客需要が減退。地産地消型を転換し、全国に販路を求める。

地産地消から転換

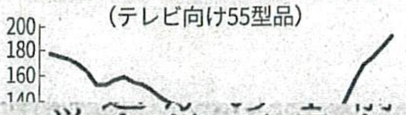
石垣牛は、石垣島や与那国島で繁殖・肥育した黒毛和牛。2000年の九州・沖縄サミット（主要国首脳会議）の晩さん会ではメインディッシュとして振る舞われた。現在、年間約850頭を出荷している。

主に島内の飲食店で提供してきたが、地産地消だけでは生産や価格が安定しにくかった。

液晶パネル5%高

テレビ向け大口2月 底値の2倍に

液晶パネルの急騰が続いている
（テレビ向け55型品）



テレビに使う…パネル価格の…ている。指標…

需給のタイト感が続く背景にあるのがパネル部材の不足だ。パネルを制御する半導体「ドライバーIC（集積回路）」…気硝子の停電事故に続き、1月にはAGC子会社の韓国工場で爆発事故が発生したことで一部で供給不足が起きている。

シリコーン製品 10～20%値上げ

信越化学、4月出荷から

信越化学工業は、合成…17年以来。主原料の金属ケイ素の値上がりや、副資材、物流コストなどの上昇を製品価格に転嫁する。

20年産コメ食味ランキング

…なつぼし」と佐賀産「さがびより」でいずれも11…

…さ、外観、総合評価の6項…し、味、香り、粘り、硬…多い。1971年産米から始まり今回で50回目。

…ないか。作況が良いからといって食味が良いわけ…

…ビューしたところだ。この2銘柄に続けと他県も…たらした結果ともいえそうだ。

（北川開）

石垣牛を首都圏へ

販促協議会が発足

沖縄県石垣島の黒毛和牛「石垣牛」を首都圏などへ売り込もうと「石垣牛流通協議会」が4日、都内で発足した。食肉卸のニイチク（東京・江東）とJAおきなわ八重山地区畜産振興センター（沖縄県石垣市）が連携、食肉卸やホテル、飲食店など37社が参加した。新型コロナウイルスの影響で観光客需要が減退。地産地消型を転換し、全国に販路を求める。

地産地消から転換

石垣牛は、石垣島や与那国島で繁殖・肥育した黒毛和牛。2000年の九州・沖縄サミット（主要国首脳会議）の晩さん会ではメインディッシュとして振る舞われた。現在、年間約850頭を出荷している。

主に島内の飲食店で提供してきたが、地産地消だけでは生産や価格が安定しにくかった。

マンスリー
（4週に1回金曜日掲載）
玄ソバ

アジア市況
◇シンガポール（3日）
▽石油製品（現物、FOB、1バレル・ドル）＝ロイター

輸入生鮮
ブロイラー
（東京・荷受け卸値、冷凍、1キロ、円、消費税抜き）

▽特殊物

キトクフーズ	235	93
東京	233	93
全農たまご	230	93

▽事業協組非規格

▽特殊物

全農たまご	224	89

ウズラの卵
（卸、30個）